

市 政 方 針



いわくら ひろふみ
苦小牧市長 岩倉 博文

詳細 政策推進課 ☎(31)6039

第21回市議会定例会で、岩倉市長は令和4年度の市政方針と予算案を示しました。

市政方針では、4期目の取り組みを振り返るとともに、次の世代を担う若い市民が幸せに暮らしていけるよう、20年先を見据えたまちづくりにまい進する強い決意を表明しました。

基本政策

1 市民によるまちづくりの推進

地域活動の促進につきましては、まちづくりの重要なパートナーである町内会と情報共有を図りながら、地域課題の解決に取り組むとともに、コロナ禍における町内会の新しい活動スタイルの提案などを行い、本来の活気ある町内会活動に向けて支援してまいります。

市民自治の推進につきましては、「苦小牧市自治基本条例」の理念に基づき、改めて市民参加と協働によるまちづくりに対する機運の醸成を図るとともに、職員一人ひとりの広聴マインドの向上に努め、市民の声に組織として対応してまいります。

男女平等参画の推進につきましては、「苦小牧市男女平等参画基本計画」の中間見直しを行い、より時代に即した施策を展開してまいります。また、DV被害者やコロナ禍により困難を抱えている女性への支援を強化し、男女平等参画社会の実現に向けて歩みを進めてまいります。

平和の推進につきましては、「苦小牧市非核平和都市条例」の制定から20年を迎えることとなり、平和への想いを形にしたいと願う活動が広がりを見せるなど、条例の理念が浸透してきていることがうかがえます。この節目の年に、市民の皆様の想いに寄り添いながら、改めて核兵器の恐ろしさ、平和の尊さに触れたいと強く事業を展開してまいります。

2 健全な行財政運営の推進

行政改革につきましては、令和2年度にスタートした「苦小牧市行政創革プラン」が計画期間の中間年を迎えます。発想の転換により、社会環境の変化に対応した取り組みを洗

い出し、プラン全体の見直しを行います。

また、10月には、既に民間に委託している窓口サービス課の業務に、保険年金課及び総合案内の業務を加えて包括的に委託することにより、総合窓口フロア全体の総合運用を開始し、市民サービスのさらなる進化を図ってまいります。

財政運営につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない状況であります。市民生活や地域経済に配慮しながら、本市の財政秩序を踏まえた健全な財政運営に努めてまいります。

3 ゼロカーボンシティへの挑戦

政府が2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラル実現の方針を示したことを踏まえ、本市は、昨年8月にゼロカーボンシティへ挑戦することを宣言しました。

本市においては、約10年前からCCS大規模実証試験に着手し、いち早く脱炭素に取り組んでまいりましたが、今後のゼロカーボンの取り組みは、産業、暮らし、交通、公共などの幅広い分野で、地域の強みをいかしながら、まちの活性化につなげていくことが重要になります。特に、2030年までの取り組みが鍵を握りますので、企業及び市民一人ひとりと認識を共有し、ゼロカーボンシティを目指してまいります。

重点施策

1 持続可能なまちに向けた都市機能の強化

行政組織の活性化

行政組織の活性化につきましては、新たな

新

型コロナウイルス感染症は、いまだ予断を許さない状況にありますが、引き続き「感染拡大防止・地域経済対策・健やかな日常」を重点軸に、スピード感を持って対策を講じてまいります。

旧サンプラザビルの対応では、市民の皆さまに長い間ご心配をおかけしており、大変申し訳なく思っております。一日も早い解決に向けて、粘り強く取り組みとともに、駅前周辺再整備に向けたビジョンの策定に取り組んでまいります。

また、「ものづくり産業のさらなる展開」「臨海ゾーンにおけるロジスティクスの展開」「臨空ゾーンにおける国

際リゾートの展開」という3つの成長戦略の具現化に向けて、「苦小牧都市再生コンセプトプラン」に基づく取り組みを加速してまいります。

さらに、政府が2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラル実現の方針を示したことを踏まえ、本市は、昨年8月にゼロカーボンシティへ挑戦することを宣言しました。本市は、約10年前からCCS大規模実証試験に着手し、いち早く脱炭素に取り組んでまいりましたが、特に2030年までの取り組みが鍵を握りますので、企業及び市民一人ひとりと認識を共有し、ゼロカーボンシティを目指してまいります。